

令和8年度（論理・表現Ⅲ） シラバス

教 科	外国語	科 目	論理・表現Ⅲ		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	共通
教 科 書	FACTBOOK（桐原書店） English Logic and ExpressionⅢ				
学習目標	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	Unit 1 AI と将来の職業 Unit 2 高校生活での成長 Unit 3 ニュース サービスの利用 Unit 4 3R と環境保護 Unit 5 キャッシュレス 決済	・AI に将来取って代わられない職業や3R の特徴について長めの意見を述べたり、議論することができるようにする。 ・自分が成長した経験やキャッシュレス決済の普及の原因とその利点についてパラグラフを書くことができるようにする。 ・問題解決型の文章のキーワードを整理し、言い換えをしながら要約文を書くことができるようにする。
2 学期	Unit 6 食品添加物 Unit 7 日本文化 Unit 8 脱炭素社会 Unit 9 電子教科書と紙の教科書 Unit 10 社会的な差別の問題 Thinking Logically 1 少子化	・食品添加物や日本文化を多角的に説明する情報を共有しながら、議論することができるようにする。 ・エネルギー構成比を示すグラフを説明するパラグラフを書くことができるようにする。 ・対比型の文章のキーワードを整理し、言い換えをしながら要約文を書くことができるようにする。 ・少子化について、その原因と結果を説明するパラグラフを書くことができるようにする。
3 学期	Thinking Logically 2 少子化	少子化について、複数のパラグラフで問題と解決策を説明するエッセイを書くことができるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解するとともに、外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションで活用できる知識・技能を身に付けている。	・定期考査 ・確認テスト ・リスニング課題
思考・判断・表現	日常的や社会的な話題について、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして論理的に表現する力を身に付けている。	・定期考査 ・パフォーマンステストの内容 ・課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして論理的に表現しようとしている。	・授業に取り組む態度 ・課題やパフォーマンステストへの取り組み方 ・自己評価